

研究会開催通知

(昭和 57 年 8 月 15 日～9 月 30 日)

研 究 会	日	時	会 場	備 考
分散処理システム	9月16日(木)	13:00～17:00	機械振興会館	下記参照
計算機アーキテクチャ	9月17日(金)	13:30～17:00	同上	同上
マイクロコンピュータ	9月17日(金)	14:00～16:00	同上	同上
数 値 解 析	9月18日(土)	13:30～16:30	京 大	同上
コンピュータビジョン	9月24日(金)	13:30～17:00	武蔵野通研	同上
グラフィクスとCAD	9月28日(火)	13:30～17:00	商業界会館	同上
データベース・システム	9月30日(木)	13:30～17:00	機械振興会館	同上

◆ 第 15 回 分散処理システム研究会

(発表件数：6 件)

(主査：戸田 巖，幹事：田中英彦，村上国男)

- 日 時** 昭和 57 年 9 月 16 日 (木) 午後 1 時～5 時
- 会 場** 機械振興会館 地下 3 階 1 号室
〔東京都港区芝公園 3-5-8, 地下鉄：日比谷線神谷町, 浅草線大門, 三田線御成門下車, 国電：浜松町下車, バス：渋谷—東京タワー線東京タワー, 等々力—東京駅八重洲線虎ノ門 5 丁目下車, Tel. 03 (434) 8211〕
- 議 題**
- (1) マルチマイクロプロセッサ向きリアルタイム処理言語 RCC について
天満尚二, 阿江 忠 (広大・工)
〔概要〕 共有メモリを持つマルチマイクロプロセッサをベースとしたリアルタイム処理言語 RCC の概要について発表を行う。
 - (2) 教育・研究用マイクロコンピュータネットワーク：HOLENET
重松保弘, 柴田芳樹, 小出 真 (九工大・情報工学)
〔概要〕 フレーム同期方式で環状に接続された 5 台の通信制御装置に 5 台のホストマイコンを接続し, これに 2 台の中型計算機を接続した教育・研究用ネットワークシステムを開発した。
 - (3) 大学間ネットワークの性能評価
鷹野 澄, 石田晴久 (東大・大型計算機センター)
飯田記子, 金沢正憲, 北川 一 (京大・大型計算機センター)
岡部公起, 坂田真人 (東北大・大型計算機センター)
〔概要〕 七大学大型計算機センター間のネットワーク・サービス開始に合わせて, 東京大学・京都大学・東北大学の各大型計算機センターどうして行った性能測定結果を報告し, N-1 アーキテクチャに対する評価を述べる。
 - (4) ファクシミリ通信網・情報センタ間プロトコルの検討
山田豊通, 網島英一, 稲森紘一, 和木英二,

南部 明, 宮部博史 (横須賀通研)

〔概要〕 DCNA を基盤としたファクシミリ通信網用センター・エンド型ファクシミリ通信プロトコルの検討結果について報告する。

(5) リモート制御可能な高速文書出力方式の検討

水谷賢司, 中村太一, 谷口秀夫, 木下研作 (横須賀通研)

〔概要〕 遠隔地からのイメージを含む高品質な文書の出力を可能とするための入出力処理方式についての検討結果を報告する。

(6) 分散データベース2層コミット手順の補強プロトコルとその正当性検証について
中野良平 (横須賀通研)

〔概要〕 2層コミットメント手順の欠点を補強するプロトコルを提案し, その有効性と正当性の検証法を示す。

◆ 第38回 計算機アーキテクチャ研究会

(発表件数: 4件)

(主査: 飯塚 肇, 幹事: 坂村 健, 大島一純)

日時 昭和57年9月17日(金)午後1時半~5時

会場 機械振興会館 地下3階2号室 (所在地は前記参照)

議題 (1) OS・言語をサポートするアーキテクチャ概観 大島一純 (武蔵野通研)

〔概要〕 OS や言語の性能, 処理効率, 機能の向上やソフトウェア生産性の向上に役立つアーキテクチャについて概観する。

(2) コンパイラチップの設計と評価

平山正治, 瀬尾和男, 房岡 璋 (三菱電機)

〔概要〕 コンパイル処理を数チップの VLSI で実現することをねらって, チップの設計と評価を行ったので報告する。

(3) データ駆動計算機 EM-3 のシミュレータによる評価

山口喜教, 戸田賢二, 弓場敏嗣 (電総研)

〔概要〕 現在開発中のデータ駆動計算機 EM-3 のソフトウェアシミュレータにより, データ駆動制御方式や結合ネットワークの評価を行っている。この評価結果を報告する。

(4) PROLOG マシンのアーキテクチャ —DAWN— 梅村 護 (日電),
横田 実 (ICOT)

〔概要〕 PROLOG に文字列処理機能を導入し, より実用的な仕様に拡張した Shape Up の専用処理マシン・アーキテクチャについて述べる。

◆ 第23回 マイクロコンピュータ研究会

(発表件数: 2件)

(主査: 石田晴久, 幹事: 木村友則, 鷹野 澄)

日時 昭和57年9月17日(金)午後2時~4時

会場 機械振興会館 地下3階1号室 (所在地は前記参照)

議題 (1) マルチプロセスモニタに基づくインテリジェント端末システム

重松保弘, 小出 真 (九工大・情報工学)

〔概要〕 マルチプロセスモニタを使用することにより, マイクロコンピュータ上で TSS 端末としての処理と, その他 (コンパイル, 編集等) の処理を並

列して処理できる自由度の多いインテリジェント端末システムを開発した。

(2) マイクロコンピュータのオンラインシステムへの活用

——リアルタイムシステムにおけるネットワーク管理の事例——

円丸哲朗 (日本ユニバック)

〔概要〕 市販パソコンを約 300 回線のオンライン監視装置として応用してみたので、そのソフトウェア概要、プロトコル、パフォーマンス、運用実績等について、汎用端末で構造する場合と比較しながら報告する。

◆ 第 2 回 数値解析研究会

(発表件数: 3 件)

(主査: 一松 信, 幹事: 戸川隼人, 山下真一郎)

日 時 昭和 57 年 9 月 18 日 (土) 午後 1 時半 ~ 4 時半

会 場 京都大学 数理解析研究所

〔京都市左京区北白川追分町, 国鉄: 京都駅烏丸口下車, 市バス: 200 甲錦林車庫行京都大学農学部前下車, Tel. 075 (751) 2111〕

議 題 (1) ベクトル計算機による大規模計算

後 保範, 小高俊彦 (日 立)

〔概要〕 偏微分方程式から発生する大規模計算をベクトル計算機で効率良く実行させる方法および、問題点について述べる。

(2) 基本ソフトウェアの虫について 林 有一 (富山大・理)

〔概要〕 浮動小数点演算ソフトウェアなどの虫の発見と対策の苦心談。あわせて 2 進法と 16 進法の差を論ずる。

(3) 循環表示つき浮動小数点演算系 吉田かおる (慶大・理工)

〔概要〕 浮動小数点数の仮数として、有限小数のみならず循環小数をも実現するために循環表示を施すことを提案し、それに基づく演算系について述べる。

◆ 第 20 回 コンピュータビジョン研究会

(発表件数: 4 件)

(主査: 福村晃夫, 幹事: 高木幹雄, 鳥脇純一郎, 田村秀行)

日 時 昭和 57 年 9 月 24 日 (金) 午後 1 時半 ~ 5 時

会 場 武蔵野電気通信研究所 6-202B 会議室

〔東京都武蔵野市緑町 3-9-11, 国電: 中央線三鷹駅下車, バス: 駅前北口より関東バス「北裏」行では武蔵野市役所前下車, または「東伏見」行では武蔵野住宅前下車, 徒歩 2 ~ 3 分, Tel. 0422 (59) 3277〕

議 題 (1) 汎用医用画像処理開発システム (GMIPS) について

周藤安造, 梅村祥之, 大関 毅 (東 芝)

〔概要〕 GMIPS は各種医用画像処理ソフトウェアを開発するためのシミュレータである。GMIPS の開発目的, 基本機能などについて述べたのち, 具体的な適用例を紹介する。

(2) 2次元フーリエ変換を用いた文書画像の領域判別法

長谷雅彦, 星野坦之 (横須賀通研)

〔概要〕 文書画像全体を小領域でスキャンし、その領域に2次元フーリエ変換処理を行い、変換面でのピーク点を検出することにより文書画像の領域を判別する方法について報告する。

(3) PGL+PTE: 文書作成機向き画像生成言語と画像テキストエディタ

田中 稔, 田中幸吉 (阪大・基礎工)

〔概要〕 文字列として画像を入力し保管するため PGL+PTE を開発した。それは濃淡画像をリアルタイムで生成し、また階層的な画像の定義ができる。

(4) 図面からの線要素と塊状要素の分離 金子 透, 若菜 忠 (横須賀通研)

〔概要〕 線要素と文字・記号等の塊状要素が混在している図面から各種要素を認識抽出するための前処理として、線要素と塊状要素を分離する手法について報告する。

〔注〕 年度計画では横須賀通研で開催予定と会告いたしましたが、会場の都合により武蔵野通研に変更になりました。

◆ 第7回 グラフィクスと CAD 研究会

(主査: 穂坂 衛, 幹事: 井越昌紀, 木村文彦, 松家英雄)

日 時 昭和57年9月28日(火) 午後1時半~5時

会 場 商業界会館 2階大会議室

〔東京都港区麻布台 2-4-9, 地下鉄: 日比谷線神谷町, バス: 渋谷一東京タワー線東京タワー, 等々力一東京駅八重洲線虎ノ門5丁目下車, 飯倉交差点角
Tel. 03 (584) 7311〕

議 題 発表予定件数: 4件

(詳細は次号情報処理 Vol. 23 No. 9 に掲載致します。)

◆ 第32回 データベース・システム研究会

(発表件数: 4件)

(主査: 酒井博敬, 幹事: 有澤 博, 吉田郁三)

日 時 昭和57年9月30日(木) 午後1時半~5時

会 場 機械振興会館 地下3階2号室 (所在地は前記参照)

議 題 (1) 関係演算の機能的拡張 平川正人, 清水達男, 市川忠男 (広大・工)

〔概要〕 データ間の関連度情報をリレーションで持たせ関連度の評価をも関係演算を用いて行うことの提案とその実現について。

(2) SOAR の日本語処理

横田一正, 加藤隆啓, 石井義興 (ソフトウェア・エージー)

〔概要〕 会話型情報検索言語 SOAR の日本語処理を紹介する。漢字データの検索/更新, カナ漢字変換, など。

(3) RDB をベースとした計画管理情報システム

—PLANNER—

神田康敬, 甲田一也 (富士通)

〔概要〕 TSS で動作する RDB をベースとした PLANNER システム構築の考え方, ユーザ適用における適用上の問題点と解決策について述べる。

(4) 82年度 ACM SIGMOD 国際会議報告 上林弥彦 (京大・工)

〔概要〕 82年6月にフロリダで開かれた ACM SIGMOD 国際会議に出席したの

で、その報告を行う。データベースの研究と応用の分野は広がりつつあるが、そのために新しい会議もできてきたため、データベースの理論から応用までのすべての分野を対象としている SIGMOD にとって、今年は変わり目の年とでも言うべきものであった。

◆ ソフトウェア基礎論研究会

第2回 日 時 10月18日(月) 午後2時～6時
会 場 九州大学工学部 情報工学科 4階S414 講義室
発表件数は3件を予定しております。

第3回 日 時 12月10日(金)
会 場 理化学研究所
テ ー マ 関数および論理プログラミングと計算モデル
コーディネーター: 井田哲雄(理研)

発表希望者は10月1日(金)までに井田(理研, TEL. 0484(62)1111 内3252)又は学会研究会係までお申込み下さい。

◆ 記号処理研究会

第22回 研究会を下記により開催いたします。多くの方々の参加を希望いたします。

日 時 昭和57年10月18日(月) 午後12時～5時
会 場 神戸大 工学部
議 題 (1) K-Prolog: 並列マシン上での Prolog の実現
田村直之, 有尾隆一, 松田秀雄, 金田悠紀夫, 前川禎男(神戸大・工)
(2) LISP による翻訳系の作成とその問題点 寺島元章(電通大)
(3) Shape Up: 記号処理向き PROLOG の実現とその効果
横田 実(ICOT), 梅村 護(日電)
(4) By-PRS and an Extention of Subresultant Theory
佐々木建昭(理研), 古川昭夫(都立大・理)
(5) Lisp マシン ELIS 上の新 Lisp TAO
竹内郁雄, 奥乃 博, 大里延康(武蔵野通研)
(6) 1982年 ACM LISP and FP Conference の報告
後藤英一(東大・理)

◆ 計算機システムの制御と評価研究会

本年度第2回研究会を下記のように特集形式で開催致しますのでふるってご参加ください。

テ ー マ: 「計算機システムと待ち行列ネットワーク: 理論と応用」
日 時: 昭和57年10月4日(月) 午前9時半～午後5時
会 場: 機械振興会館 地下3階1号室
概 要: 計算機システムに関連する待ち行列ネットワークの理論・応用, システム評価での使用経験など, また tutorial な概説を予定しています。

* 事務局研究会係より

上記の各研究会に発表希望の方は、開催前々月の5日までに50字以内の論文概要を添えて、お申込み下さい。又、他の研究会も広く会員の方々の研究発表論文を募集しております。詳細につきましては事務局研究会係までお問い合わせ下さい。

情報処理学会第 25 回全国大会（昭和 57 年後期）概要

- 日 時** 昭和 57 年 10 月 19 日(火)～21 日(木)
- 会 場** 九州大学工学部・理学部（福岡市東区箱崎）
- 一般参加費** 大会当日会場にて受付ます（登壇論文発表者は除く^注）。
会 員 1,000 円（賛助会員は 1 口 1 名として正会員に準じます。）
非会員 2,000 円
- 論文集代** 定価 6,000 円（予約価 5,000 円）
（当日、予約者以外にお頒けできるのは、残部のある場合に限りです。）
- 論文集予約** 予約（9 月 24 日締切）を原則とします。前号綴込みの申込書をご利用ください。
- プログラム** 詳細は 9 月号本欄に掲載されます。登壇論文発表者はとくにご注意ください。
- 特別講演**（10 月 21 日 12:00～13:30）
Overview on OR and Computer Science（仮題）
G. B. Dantzig（スタンフォード大）
- 招待講演**（10 月 19 日 10:00～11:00）
知と情——脳内情報処理機構と計算機 大村 裕（九大医学部）
- パネル討論**（2 件）
システム監査（10 月 19 日 15:00～17:00）
（司会）山本 欣子（開発協会）
自然言語処理の現状と課題（10 月 20 日 13:00～15:00, 15:15～17:00）
（2 セッション）（司会）淵 一博（新世代コンピュータ技術開発機構）
- 一般セッション**（論文発表 721 件）

注) 登壇発表者には原稿用紙送付時に講演参加費 7,000 円を請求いたしますので、原稿提出と同時に納入してください。ただし 2 件以上発表される方は、1 件増すごとに 2,000 円増。

- 宿泊案内** 大会時期は丁度博多は観光シーズンにあたり、ホテルが不足するおそれがあります。（株）日本旅行を紹介いたしますので、ご希望の方は早目に同社宛にお申込みください（学会事務局では直接取扱いいたしません）。

宿泊取扱日 10月18日(月), 19日(火), 20日(水), 21日(木)

ホテル・料金

区分	ホテル名	住所	料金	
A	博多グリーンホテル	福岡市博多区博多駅中央街 4-4	S	4,600円
			T	3,900円
B	ホテルリッチ博多	福岡市博多区博多駅前 3-27	S	6,500円
			T	6,000円
C	博多都ホテル	福岡市博多区博多駅東 2-1-1	S	10,000円
			T	8,800円

・料金には1泊朝食・税金・サービス料を含む

申込方法 申込書に必要事項を記入のうえ, 下記申込先まで郵送のこと. 申込順に「宿泊申込確認書」が返送されます.

申込締切 昭和57年9月10日

料金支払 9月30日までに宿泊料および連絡通信実費300円を現金書留, または銀行振込にて送金のこと. (第一勧業銀行日比谷支店 普通口座 1215809 口座名 (株)日本旅行新橋営業所)

申込・問合せ 〒105 東京都港区新橋 2-5-4 第一兼坂ビル (株)日本旅行新橋営業所 情報処理学会係 (担当・国玉, 清水) Tel. 03 (503) 2654

取消料 10月9日までに「はがき」等により連絡のあった場合には, 通信連絡費および諸費用500円を差引き料金を返却します. その後の取消しについては, ホテルの規定に基づく取消料が必要となります.

..... き..... り..... と..... り.....

申 込 書

代表者名			住所					電話		
氏名	男女	年齢	ホテル区分		10/18	10/19	10/20	10/21	宿泊費×泊数	合計
			宿泊区分							
(例) 日旅太郎	男	30	A・B・C		○	○	○	○	6,500×4	26,000円
			シングル・ツイン							
			A・B・C							円
			シングル・ツイン							円
			A・B・C							円
			シングル・ツイン							円

欧文誌の原稿募集について

1978年4月に欧文誌“Journal of Information Processing”を創刊いたしました。同誌に論文発表を希望される会員は、下記を参照のうえ原稿を寄せられるようご案内いたします。

1. 欧文誌発行の目的

わが国の情報処理の研究水準向上のため、情報処理に関する諸研究の国際交流をはかる。

2. 発行計画

(1) 50ページ×4回/年=200ページ, A4判

(2) 純学術研究発表誌とし, Paper と Short Note を募集する。

(i) Paper (原則として刷上り8ページ以内)——「情報処理」掲載の論文と同じ査読規準に基づき, 欧文誌編集委員会で採録を認められた欧文論文。

(ii) Short Note (2ページ以内に限る)——「情報処理」掲載のショート・ノートに準じて, 採録を認められた欧文による小論文。

3. 「情報処理」との関連

Paper と Short Note の和文アブストラクトを「情報処理」に掲載する。

4. 論文原稿の書き方

(1) 用紙はA4判(21cm×30cm)の白紙を使い, 1行65ストローク, ダブルスペースで上下3cm(強)の余白を残し, パラグラフは初めを5~6字分あける。この様式で原稿をタイプした場合(図表なしで)24枚で, 欧文誌刷上り8ページに当る。なお文章中指定のない場合の記号は立体, 数式中の記号は(イタリック)となる。

(2) 査読の都合上, タイトル, 氏名, 所属およびアブストラクトを和英両語で別紙に記述する。なお和文アブストラクトは英文アブストラクトの邦訳とする。

(i) Paper のアブストラクト——200語以内

(ii) Short Note のアブストラクト——50語以内

(3) 図表(写真を含む)は, 完成図(そのまま縮小製版できるもので, 縮版した場合の希望のできあがり寸法を指定する。なお, 文字は縮版のさいも読める大きさに書く。)を本文と別にし, 説明文は別紙にまとめてタイプし, 本文の末尾につける。ただし原稿中に図表のそう入場所を指定する。

(4) 寄稿のさいキーワード表を添付する。(用紙は欧文誌係にご請求ください。)

5. 原稿の送付

(1) コピー4部を送付する。

(2) 送付先: 情報処理学会「欧文誌係」

〒105 東京都港区芝公園 3-5-8 機械振興会館 308-3号

6. 別刷料

下記の通り別刷100部を印刷実費の一部として, ご負担いただきます。

ページ	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
別刷料	5,000	10,000	15,000	20,000	25,000	30,000	35,000	40,000	55,000	70,000

日本人参加者のための ICSE 案内

—TUTORIAL (講習会) 開催のお知らせ—

第6回ソフトウェア工学国際会議 (ICSE) の行事の一部として下記の要領で講習会を開きます。多数参加されますようおすすめいたします。

日 時 1982年9月13日(月) 9:20~17:30

場 所 学習院大学(東京都豊島区目白) 国電山手線目白駅下車

参加費 6th ICSE 参加者 5,000円 講習会のみ参加者 10,000円

申込方法 前号本欄参照

申込締切 8月31日(火)

申込・問合せ先 (社)情報処理学会 6th ICSE 事務局 Tel. 03 (431) 2808

開催の趣旨 国際会議の発表講演をさく場合、予備知識の有無は講演の理解度を非常に大きく左右します。ちょっとした術語を一つ知らなかったばかりに講演全体がまったく理解できなかったという例も稀ではありません。この講習会では ICSE の過去の流れを分野別にたどり、今回の会議の講演に出てきそうな概念、術語を手短かに解説することによって日本人会議参加者のかたがたに身仕度をととのえていただくことをねらいとしています。会議に参加されるかたがたはもちろん、参加できないかたにも大いに有益と信じます。

~~~~~プログラム~~~~~

- ライフサイクル I (9:20~10:20) 野木 兼六 (日立システム開発研)
—— 休 憩 (10:20~10:30) ——
- ライフサイクル II (10:30~11:30) 鳥居 宏次 (電総研)
—— 休 憩 (11:30~11:40) ——
- 工具, 環境 (11:40~12:40) 田畑 孝一 (図書館情報大)
—— 昼 食 (12:40~14:00) ——
- 言 語 (14:00~14:30) 竹下 亨 (日本 IBM)
- 管理, 品質保証, 計量 (14:30~15:30) 寺本 雅則 (日 電)
—— 休 憩 (15:30~16:00) ——
- 理 論 (16:00~17:00) 片山 卓也 (東工大)
- ヒューマンファクタ (17:00~17:30) 木村 泉 (東工大)

「論理装置と LSI の CAD」講習会開催のお知らせ

論理装置の CAD 全般についての講習会を昨年 9 月に開催したところ、さらに具体的な解説を希望する方も多いため、今回は下記により論理設計、検査設計、実装設計の各論について具体的な解説を行います。特に LSI についてはテーマを独立させて理解し易いように工夫いたしましたので、多数の方々のご参加をおすすめします。

(1) 論理設計

LSI/VLSI およびこれらを用いた論理装置の設計手法、設計言語、論理シミュレータも含めた論理検証手法、論理設計用 CAD システムなど。

(2) 検査設計

LSI/VLSI やこれらを搭載したプリント板の検査データの自動生成アルゴリズム、故障シミュレーション手法、LSI/VLSI の検査で重要視されている検査容易化設計など。

(3) プリント板実装設計

実装設計自動化の基本となる配置、配線のアルゴリズム、プリント板実装設計の CAD システムについて、データベースとの関係、製造自動化との関係など。

(4) LSI レイアウト設計

マスタスライスおよびビルディングブロック方式の LSI/VLSI のレイアウト設計手法、配置・配線用 CAD、ネットワーク検証用 CAD など。

日 時 昭和 57 年 11 月 11 日 (木)、12 日 (金)

場 所 機械振興会館 6 階 67 号室

テキスト 情報処理叢書「論理装置の CAD」(樹下行三編)

参加費

	テキストを含む(会場渡し)	テキストを含む(事前郵送)	テキスト不要
会 員	10,000 円	10,300 円	8,800 円
非 会 員	15,000 円	15,300 円	13,500 円
学生会員	5,000 円	5,300 円	3,800 円

申込締切 昭和 57 年 10 月 22 日 (金)

~~~~~プログラム~~~~~

第 1 日 11 月 11 日 (木)

- 論理設計 (9:30~12:30)

伊藤 誠 (山梨大)

—— 昼 食 (12:30~13:30) ——

- 検査設計 (13:30~16:00)

樹下 行三 (広島大)

第 2 日 11 月 12 日 (金)

- プリント板実装設計 (9:00~12:00)

浜村 博史 (富士通)

—— 昼 食 (12:00~13:00) ——

- LSI レイアウト設計 (13:00~16:00)

池本 康博 (日 立)

受付 No. _____

昭和 57 年 月 日

「論理装置と LSI の CAD」講習会参加申込書^{注 1)}

申込者 氏名 _____ 会員 No. _____

連絡先 〒 _____

Tel. _____

標記講習会の参加を下記によって申し込みます。

○ 参 加 費 (該当する欄に○印をつける)

	テキストを含む(会場渡し)	テキストを含む(事前郵送)	テキスト不要
会 員	10,000 円	10,300 円	8,800 円
非 会 員	15,000 円	15,300 円	13,500 円
学生会員	5,000 円	5,300 円	3,800 円

○送 金 方 法

_____円を 月 日送金します (金額, 送金月日を記入のうえ該当する送金方法を○印でかこむ)。

a. 現金書留 (同封)

b. 銀行振込 (いずれも普通預金口座)

第一勧銀虎ノ門支店 1013945

富士銀行虎ノ門支店 993632

三菱銀行虎ノ門支店 0000608

三井銀行本店 4298739

住友銀行虎ノ門支店 10899

名義人 東京都港区芝公園 3-5-8

社団法人 情報処理学会

請求書類の必要な方はお申出ください。

(No.)

請求書 通, 見積書 通, 納品書 通

請求先 _____

その他 (連絡事項をご記入下さい)

注) 1. 申込書は1枚1人として下さい (この用紙をコピーしたものでも可)。

2. 本学会賛助会員は1口1人として正会員に準じます。